



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年10月31日

上場会社名 有機合成薬品工業株式会社  
コード番号 4531 URL <https://www.yuki-gosei.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-3664-3980

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,799	8.0	238	54.2	249	50.9	170	56.1
2023年3月期第2四半期	6,302	21.0	521	193.8	509	178.9	388	351.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	7.82	
2023年3月期第2四半期	17.82	

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	21,555		11,647			54.0
2023年3月期	22,118		11,478			51.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 11,647百万円 2023年3月期 11,478百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		7.00	7.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	5.1	840	6.4	810	22.7	600	7.8	27.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	21,974,000 株	2023年3月期	21,974,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	150,304 株	2023年3月期	149,964 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	21,823,813 株	2023年3月期2Q	21,824,693 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の社会的制限が緩和されたことなどから、経済活動の正常化が進み、個人消費の持ち直し、インバウンド需要の回復等の動きが見られました。一方、物価上昇や為替変動、世界的な金融施策の引き締め等による景気への影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

化学工業におきましても、半導体関連を中心に市場が停滞する中、原材料やエネルギーコストが依然として高い水準にあるため、収益への圧迫が避けられない状況にあるなど、引き続き厳しい経営環境が続いていると認識しております。

こうした状況下、当社は外部環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、当期を起点とする3か年の中期経営計画を策定し、定めた経営目標を達成するために重要課題を克服・解決することで、持続可能な社会の実現に取り組んでおります。

当第2四半期累計期間の業績状況といたしましては、半導体関連材料の販売におきまして半導体市況の低迷を受けた需要低下により売上が減少したことなどから、売上高は前年同四半期比8.0%減の5,799百万円となりました。段階利益につきましては、売上高の減少と本年9月8日に弊社常磐工場（福島県いわき市）を襲った台風13号の影響で設備稼働損失を計上したことなどから、営業利益は前年同四半期比54.2%減の238百万円、経常利益は前年同四半期比50.9%減の249百万円、四半期純利益は前年同四半期比56.1%減の170百万円となりました。

製品区分ごとの販売の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2023年3月期第2四半期累計期間				2024年3月期第2四半期累計期間			
	国内	輸出	合計	構成比(%)	国内	輸出	合計	構成比(%)
アミノ酸関係	553	1,976	2,529	40.1	631	1,536	2,167	37.4
化成品関係	1,488	381	1,869	29.7	1,197	715	1,913	33.0
医薬品関係	1,545	357	1,903	30.2	1,262	454	1,717	29.6
計	3,587	2,715	6,302	100.0	3,092	2,706	5,799	100.0
構成比(%)	56.9	43.1	100.0		53.4	46.6	100.0	

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## (アミノ酸関係)

食品用途の輸出版売が好調であったものの、半導体関連用途の販売が減少したことから、売上高は2,167百万円と、前年同四半期に比べ361百万円(14.3%)の減収となりました。

## (化成品関係)

高分子材料、特殊触媒、機能性ポリマー原料等の輸出版売が増加したことにより、売上高は1,913百万円と、前年同四半期に比べ43百万円(2.3%)の増収となりました。

## (医薬品関係)

輸出版売は順調であったものの、一部の原薬等の国内向け販売が減少したことから、売上高は1,717百万円と、前年同四半期に比べ185百万円(9.8%)の減収となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 財政状態に関する分析

当第2四半期会計期間末における各貸借対照表項目の増減要因は、次のとおりであります。

#### (流動資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末から620百万円減少し、10,401百万円となりました。これは主に、仕掛品の増加と、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

#### (固定資産)

当第2四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末から57百万円増加し、11,154百万円となりました。これは主に、投資有価証券の増加と、建物、機械及び装置の減少によるものであります。

#### (流動負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末から871百万円減少し、6,932百万円となりました。これは主に、設備関係電子記録債務の増加と、支払手形及び買掛金、電子記録債務、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、賞与引当金の減少によるものであります。

#### (固定負債)

当第2四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末から139百万円増加し、2,975百万円となりました。これは主に、長期借入金の増加によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末から168百万円増加し、11,647百万円となりました。これは主に、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は784百万円となり、前事業年度末に比べ358百万円減少いたしました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は274百万円(前年同四半期は981百万円の増加)となりました。これは主に、減価償却費485百万円、仕入債務の減少503百万円、売上債権の減少424百万円、棚卸資産の増加122百万円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は333百万円(前年同四半期は180百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出287百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は300百万円(前年同四半期は1,123百万円の減少)となりました。これは主に、長期借入れによる収入400百万円、短期借入金の純減少額180百万円、長期借入金の返済による支出309百万円によるものであります。

## (3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明

当社を取り巻く外部環境は、ウクライナ地域、中東地域における情勢や国内外の景気状況等を要因とする、原材料、エネルギーコストの上昇や為替、金利の動向等、依然として不透明な状況が続くことが予想されます。

このような状況の下、販売面では、アミノ酸関係におきましては、半導体市場の低迷を受けた主要取引企業での生産調整による需要低下が当面続くことから、引き続き厳しいと見込んでいるものの、化成品関係における電子材料向け新製品が想定を上回る受注を期待できると考えております。また、医薬品関係におきましては、当第2四半期までに開発や試作を進めてきた新規受託品の販売が、当第3四半期に見込まれるとともに、その他の医薬関係の製品につきましても、期初計画どおり当第3四半期から当第4四半期末までに集中的に販売できると見込んでおります。

生産面では、本年9月8日に発生しました台風13号による弊社常磐工場(福島県いわき市)での水災被害に対し、設備等の復旧を進めるとともに稼働計画の見直しを実施し生産活動の巻き返しを鋭意行っております。

以上の見込みにより総合的に判断し、現時点における当社の2024年3月期通期の業績予想につきましては、2023年5月15日に発表いたしました業績予想を変更しておりません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,143	784
受取手形及び売掛金	2,999	2,574
製品	4,456	4,500
仕掛品	128	267
原材料	1,766	1,717
その他	527	555
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,021	10,401
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,168	2,138
機械及び装置（純額）	2,239	2,179
土地	3,110	3,110
建設仮勘定	98	181
その他（純額）	1,203	1,149
有形固定資産合計	8,821	8,759
無形固定資産	274	238
投資その他の資産		
投資有価証券	1,611	1,844
その他	389	310
投資その他の資産合計	2,000	2,155
固定資産合計	11,096	11,154
資産合計	22,118	21,555
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,088	1,658
電子記録債務	345	271
短期借入金	3,720	3,540
1年内返済予定の長期借入金	519	419
未払法人税等	104	49
賞与引当金	235	144
設備関係電子記録債務	61	149
その他	730	699
流動負債合計	7,803	6,932
固定負債		
長期借入金	825	1,016
再評価に係る繰延税金負債	600	600
退職給付引当金	1,073	1,081
資産除去債務	14	14
その他	322	262
固定負債合計	2,836	2,975
負債合計	10,639	9,907

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,471	3,471
資本剰余金	3,250	3,250
利益剰余金	4,103	4,121
自己株式	△48	△48
株主資本合計	10,776	10,794
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	533	685
土地再評価差額金	168	168
評価・換算差額等合計	702	853
純資産合計	11,478	11,647
負債純資産合計	22,118	21,555

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	6,302	5,799
売上原価	4,602	4,483
売上総利益	1,699	1,315
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	212	197
賞与引当金繰入額	52	32
研究開発費	375	339
その他	537	507
販売費及び一般管理費合計	1,177	1,076
営業利益	521	238
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	20	19
為替差益	39	11
雑収入	9	12
営業外収益合計	69	43
営業外費用		
支払利息	21	25
支払手数料	3	6
関税費用	53	—
雑損失	3	1
営業外費用合計	81	33
経常利益	509	249
特別損失		
固定資産除却損	33	57
特別損失合計	33	57
税引前四半期純利益	476	192
法人税等	87	21
四半期純利益	388	170

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	476	192
減価償却費	447	485
賞与引当金の増減額 (△は減少)	81	△90
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△26	8
固定資産除却損	33	57
受取利息及び受取配当金	△20	△20
支払利息	21	25
売上債権の増減額 (△は増加)	307	424
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△495	△122
仕入債務の増減額 (△は減少)	185	△503
未払又は未収消費税等の増減額	△124	69
その他	110	△195
小計	997	331
利息及び配当金の受取額	20	20
利息の支払額	△22	△32
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△25	△45
その他	12	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	981	274
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△152	△287
有形固定資産の除却による支出	△26	△45
貸付金の回収による収入	1	1
無形固定資産の取得による支出	△3	—
その他固定資産の取得による支出	0	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△180	△333
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,000	△180
長期借入れによる収入	200	400
長期借入金の返済による支出	△189	△309
リース債務の返済による支出	△46	△59
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△86	△151
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,123	△300
現金及び現金同等物に係る換算差額	39	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△282	△358
現金及び現金同等物の期首残高	1,856	1,143
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,573	784

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。